

十一
一期利子

す次そが金と平
る号の銀額し成
期及翌行を、十
日び嘗休支次五
に第業業払の年
つ十日日う算四
い三にに。式月
て号支当たに二
同に払ただよ十
じ。おうるしり日
()。いへと、算を
て以き支出支
規下は払し払
定、期た期

十九八七六五四三二一
払経利発発種額払発
込過行類面込行
み利行金行
子価額金
の率格日の額額
に金加郵年額平円五二額に簡条二財回利
払額え政○面成、万百面よ易第十政付
いを、事・金十一円六金る生一六融
込第次業一額四億、十額引命項年資
む十の庁バ百年円十億で受保法資
も六算長一円十及万二二け
の号式官セに月び円千百
とにはンつ二十、六六
す規よ、トき十億百百十
る定り払百一円万万億円
す算込円日の円円円
る出金十 六、
期し額錢種千
日たに 万
額面金額及び登録金額の総額× $\frac{0.1}{100} \times \frac{365}{1}$

条件十令国財務省
平等四年第債務省
成を四年三月十發告示等
十四の月二号行
年とおり四十
十一年七月一日告示に第
四百四十七條第
に關する四号
月六日付國庫大
臣に發行省令
する行項令
した規定昭和
利付に五十
国基づ七年
債の發行大
行平蔵

十
六
五
四
三
二

払
込
期
日
元
場
所
支
償
利
金
額
償
還
期
限
後
の
利
子
第
二
期
以

平取国日額平利てを毎
成扱債本面成子、支年
十店代銀金十をそ払四
四並理行額六支の期月
年び店の百年払日と二
十に及本円十う以し十
月取び店に月。前、日
二扱国、つ二六各及
十郵債支き十月支び
一便元店百日間払十
日局利、円に期月
金代
支理
支店
払、
属に二
すお十
るい日

額面金額又は登録金額× $\frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$